新しい働き方の実現: MetaMoJiが創るテレワーク の可能性

> 2024年12月10日 株式会社MetaMoJi



本日の講演内容

MetaMoJi の紹介

テレワークの取組

- MetaMoJi 社内
- ・ユーザー企業事例

テレワークへの思い



登壇者の紹介



浮川初子

1973年 愛媛大学工学部電子工学科卒業

1979年 ジャストシステム創業 代表取締役専務に就任

2009年 ジャストシステム退任

MetaMoJi創業

代表取締役専務に就任

浮川和宣

1973年 愛媛大学工学部電気工学科卒業

1979年 ジャストシステム創業 代表取締役社長に就任

2009年 ジャストシステム退任

MetaMoJi創業

代表取締役社長に就任



MetaMoJiの会社概要

設立 : 2009年12月1日

役員 : 代表取締役社長 浮川 和宣

(株式会社ジャストシステム 元社長)

代表取締役専務 浮川 初子

(株式会社ジャストシステム 元専務)

従業員数 : 110名 (2024年12月1日現在)

事業所 : 本社 東京都港区六本木

開発拠点

東京都港区、徳島市、大阪市、福岡市

事業内容 : ソフトウェアの開発・販売

可什





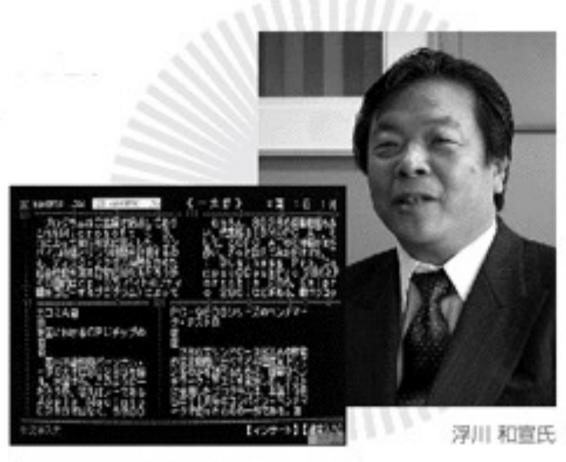


ドキュメント作成ツールのエキスパートが集結 30年以上にわたるドキュメント作成ツールの知見があります



一太郎・ATOKの成功





ATOK4を搭載した一太郎

https://xtech.nikkei.com/it/members/NBY/techsquare/20050519/161179/



2009年 第2創業 MetaMoJiの挑戦

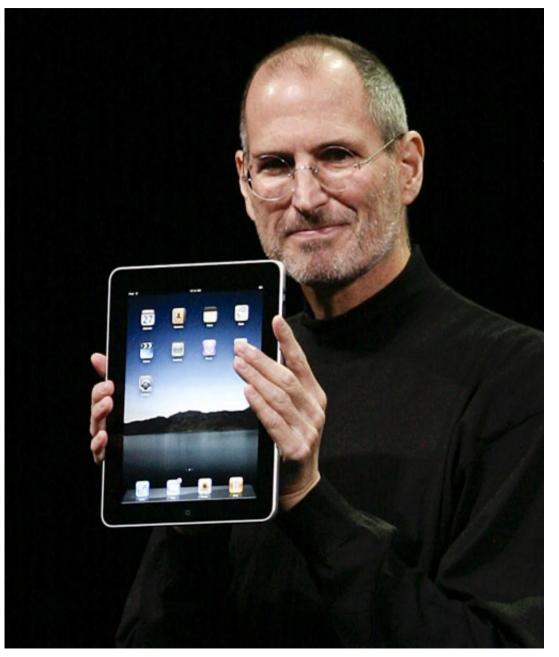
ジャストシステムを退任 20名の技術者と新会社の設立







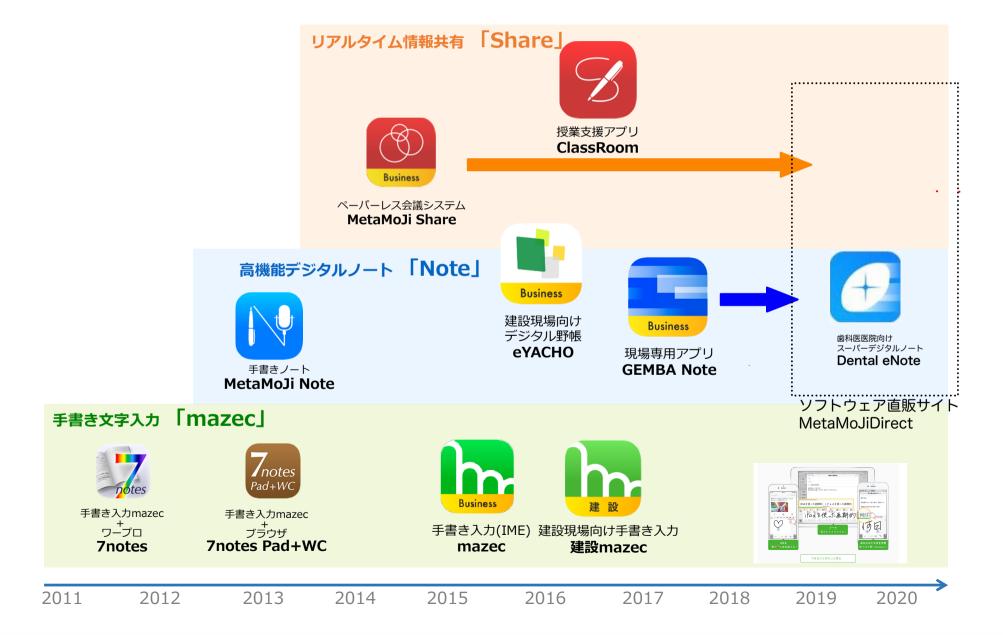
2010年 iPad の登場



iPAD! 衝撃を受ける



MetaMoJiアプリケーションの歩み





MetaMoJi 社内のテレワークの様子

テレワークの様子



アプリの説明

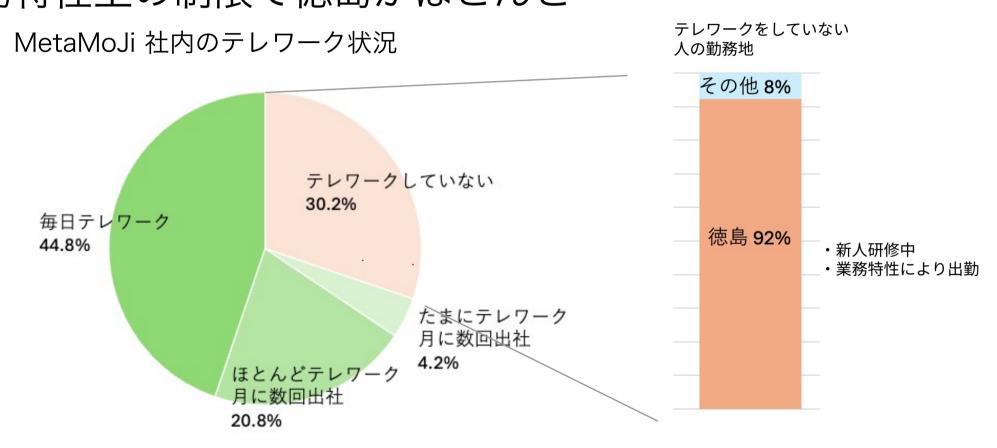




2022/1/15 NHK「ノーナレ」より



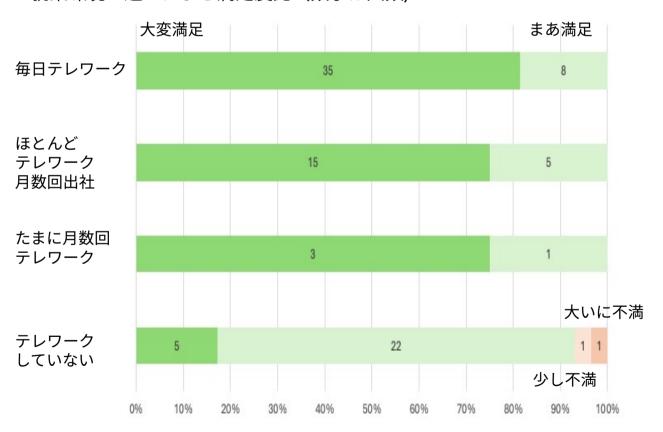
MetaMoJi では70%の社員がテレワークを実施。内45%は毎日テレワーク。テレワークをしていないのは新人研修と業務特性上の制限で徳島がほとんど





テレワークをしている人は就業環境に満足しており、その理由は家族と過ごす時間の増加と通勤のストレスからの解放

就業環境の違いによる満足度比(数字は人数)



<家族と過ごす時間の増加>

私事都合ですが、子どもが通塾・受験等の時期に在 宅勤務できたことで、朝や夕方、夜の時間を子ども との対話や世話に費やせたことが本当にありがたか ったです。

家族もリモートワークのため、同じ生活時間を過ごせる(例えば夕食を食べる時間が合わせられる)ということは、MetaMoJiを選んだ一つのポイントです。

<通勤のストレスからの解放>

移動時間(通勤時間)を業務時間にあてられる ので生産性があがる。通勤のストレスからも解 放される。

通勤の往復時間(約2時間)を費やすことなく、その時間を仕事に充てられるので時間に追われて慌てなくて済むメリットがある

混雑する通勤時間が苦痛だったので、通勤が不要な リーモートワークで快適になった。

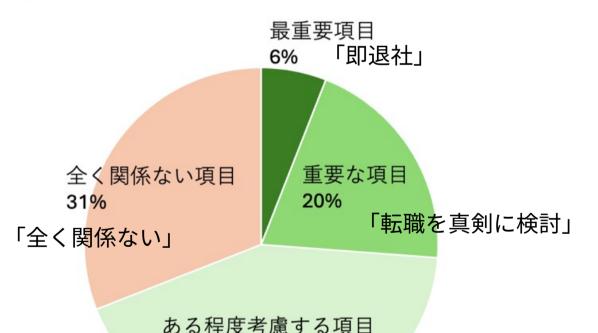


テレワークはMetaMoJi社員にとって仕事選びで 重要な項目。生活のリズムと完全に定着している

職業選択におけるテレワークの重要性

43%

仮定の質問:「MetaMoJiが週5日出勤になったらどうしますか?」



「テレワークできる

他社の情報が気になる」

<生活のリズムとして定着しているテレワーク>

現在のテレワークの環境が完全に生活のリズムになっている。

転職したばかりだが、体調が良くなった。

自分自身、並びに親の介護のための時間がとれるようになって、助かっている。



テレワークを定着させる取組

全社員が出席する全体会議を毎週リモート開催

年2回全社員が一堂に会する会議を開催

新入社員(新卒・中途)は、半年~1年、徳島オフィ スに出勤

リモート会議室を法人契約して社員が自由に利用

顔写真Databaseの整備



MetaMoJi はお客様のテレワーク実現に貢献しています



市邨学園 休校中のオンライン授業



大林組 単身赴任先の大阪から東京の部下を管理

MetaMoJi ユーザー のテレワーク成功事例



JR西日本 2020年の新型コロナで社員の半 数がリモート勤務になっても問題 なく業務を遂行





日本鉄道電気設計 現場に出る若手と事務所のベテランの共同作業



旭化成ホームズ モデルハウスと事務所が連携 ワークライフバランス改善



吉田歯科 受付スタッフが在宅ワーク

<u>名古屋経済大学市邨中学校・高等学校様</u> 新型コロナによる約2ヶ月の休校中、MetaMoJi ClassRoomを使用してオンライン授業を実施



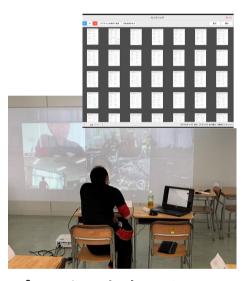
- -市邨中学・高校は、 2017年よりひとり1台の iPadを整備するICT先進 企業
- -MetaMoJi ClassRoomを利用し、新型コロナによる約2ヶ月の休校中オンライン授業を実施

毎朝定時に朝礼を実施して 生活リズムを整える



面談や個別指導もオンライン





プロジェクターと ClassRoomを併用し生 徒の理解度を確認

勉強の遅れもなく平常通りの夏季休暇を過ごし新学期を迎えた

<u>株式会社大林組 山口様</u> eYACHOのシェア機能で遠隔地、大阪駐在が可能に



一時的に大阪に駐在し た山口課長は、東京に 在席する部下とのコミ ュニケーミョンに MetaMoJi eYACHOを 活用 顧客提出書類の確認、 議事録のチェックな ど、電話では困難な細 かな確認等密度の高い コミュニケーションを 実現 顧客とはFace to Faceでコンタクトし、社内の部下とは遠隔テレワーク環境で密に仕事をするというがある。



今野社長(当時)

-顧客要望等の情報に付加 価値を付けた設計を提案 をするのがお仕事

-IT活用を、社長が率先して 新しい技術にチャレンジ テレワーク① 現場とオフィス の情報共有

現場でMetaMoJi Shareに 取り込んだ図面に手書きで メモやスケッチ





MetaMoJi Shareを使って リアルタイムに現場との 情報共有が可能に

テレワーク② 複数拠点を結んだ 部所長会議



MetaMoJi Shareを使った部所長会議の様子

JR西日本大阪工事事務所様

MetaMoJi Shareで紙ベースの資料で集まって仕事をするスタイルから 別々の場所から現場長がテレワークで会議をするスタイルに変革

新型コロナ前

大きな建設プロジェクトが 多数あるが「仕事は増える が社員数は変わらない」

紙ベースの資料で集まって仕 事をするスタイルの脱却 MetaMoJi Shareで社内会議をテレワーク





現場長会議。約50人が別の場所から参加している

MetaMoJi Shareの導入

2020年の新型コロナで社員の半数が リモート勤務になっても問題なく業 務を遂行

旭化成ホームズ株式会社 様



営業が顧客と打ち合わせた内容をリアルタイムで設計や他部門と共有。 迅速な顧客対応の実現と生産性の劇的な向上による働き方改革とワーク ライフバランスを実現!

IT導入担当者



オフィスとモデルル ーム間の情報共有イ ンフラとして全社ほ とんどの職種 5,000人にiPadと MetaMoJi Shareを 導入

オフィス勤務 の設計担当者



十葉・茨城宮業本部 十葉南支店 設計課 課長 澤田克弥氏

設計が営業の帰りを 待たずに、顧客との 打ち合わせ内容を確 認することで大幅な 効率化向上を実現

モデルルームの 営業責任者



移動を大幅に減らす ことができ、家族と 過ごせる時間が大幅 に増加。ワークライ フバランスを実現

スマイルデザイン吉田歯科様

日本初。受付スタッフの在宅ワークを可能にし、高スキル人材の離職率の低減を実現

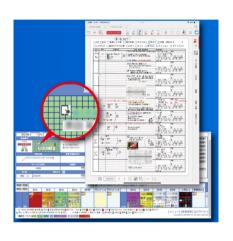


「予約には、医院独自のルールや習慣、 ドクターの考えの考慮と、患者個別の細 やかな対応の両方が必要で、高いスキル が要求される仕事。

にも関わらず、せっかく経験を積んでも 結婚・出産を機に離職するケースが多か ったのは非常に残念」



院長吉田様



予約システムと
MetaMoJi Dental
eNote(診療ノー
ト)を繋げ、日本初
の歯科医の受付の
無人化を目指す。



物理的にカルテを 出す作業がなくな り、在宅ワークが 可能になる。出産 後も仕事が続けら れるようになっ た。

在宅勤務の 受付 矢野様

テレワークにかけるMetaMoJi経営者の想い

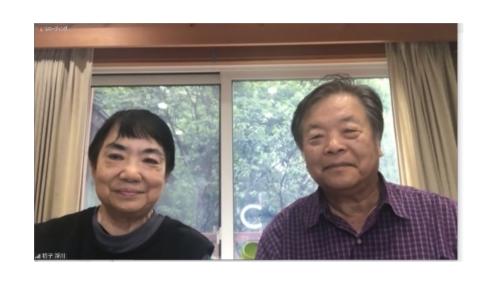
テレワークは一時の流行では無く、永続的に続けていく基本の働き方

非常事態宣言が出る前から、テレワークを強く推 奨し、非常事態宣言発布後は、感染者の少ない地 域の拠点も含めて全面的にテレワークに移行

テレワークへの移行で大きな混乱は無く、社員からも好意的に受け止められたこともあり、テレワークを会社の基本ワークスタイルとして位置づけ

会社としては、オフィスの役割の再定義、サテライトオフィスの設置等の検討

社員の中には、長いスパンで、居住地や居住環境 を考え始める者も出始めており、会社としても支 援していく考え



代表取締役専務

浮川 初子

代表取締役社長

浮川 和宣



